



独立行政法人



国立病院機構

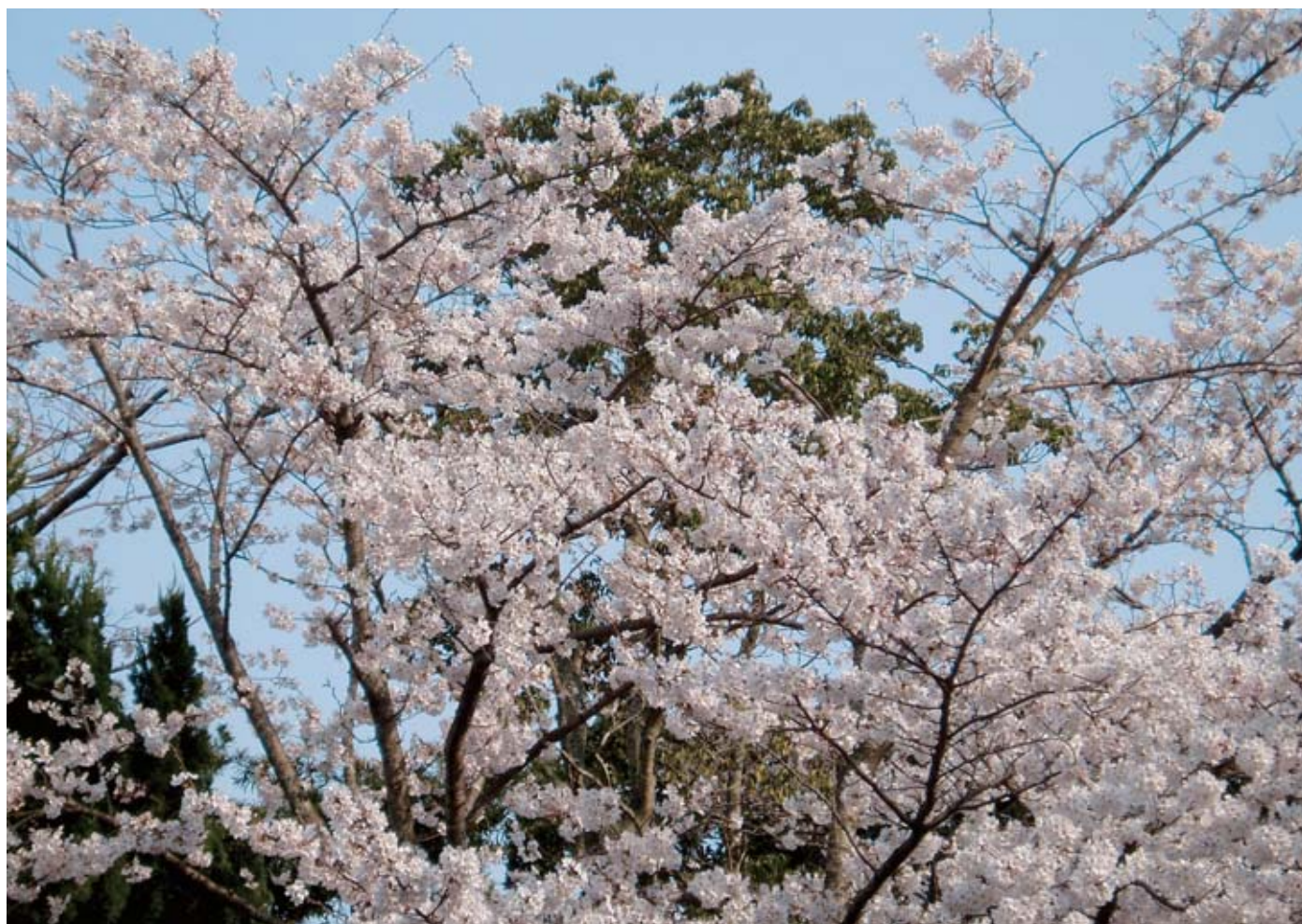
うれしの

第17号

発行所 嬉野医療センター
佐賀県嬉野市嬉野町
大字下宿内2436番地
印刷 陽文社印刷㈱

NHO URESHINO MEDICAL CENTER

2008.5



「満開の桜」 泌尿器科 計屋 紘信

患者さんの権利

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| 1 安全で、かつ平等な最善の医療を受ける権利 | 5 常に人としての尊厳を守られる権利 |
| 2 疾患の治療等に必要の情報得、また教育を受ける権利 | 6 医療上の苦情を申し立てる権利 |
| 3 治療法を自由に選択し、決定する権利 | 7 継続して一貫した医療を受ける権利 |
| 4 プライバシーが守られる権利 | 8 生活の質（QOL）や生活背景に配慮された医療を受ける権利 |

CONTENTS

② 学校新築によせて

③ 臨床研究部の発足

④ 日本医療マネジメント学会に参加して

第56回生 入学式

⑤ 病院食の安全に関する取り組みについて

⑥ ちけん室コーナー

⑦ 花だより

⑧ 外来担当医表／編集後記



学校新築によせて

嬉野医療センター附属看護学校 小池 恭栄

平成20年2月に待望の新しい学校ができ、3月2日に移転しました。やっとできた、もうできた・・・何ともいえない思いです。新築については、私が6年前にこの学校に転勤になって、一年目ぐらいに学校長から「新しい学校ができるとしたら、どんな学校がいいか、青写真をださない」と言われ、土日かかって提出した記憶があります。あれから5年、時々新築の話はありましたが、建て替えるに至りませんでした・・・いつ建て替えが決まってもいいようにと思い、2年前に熊本で学会があったとき、熊本医療センター附属看護学校の見学に行きました。基礎は、当校のように頑丈なLCRではありませんが、ちょっと豪華な設備に驚きました。

去年の仕事始め式に学校が建て替わると聞き、自分の耳を疑いました。正直、よかったけれど、大変だろうという気持ちが強く、素直に喜べなかった自分を覚えています。複雑な気持ちでした。あれから打ち合わせの会議がありましたが、イメージがなかなかつかず大変困ったこともありました。車を運転していても、変わった家や建物を見ては、学校の新築に活かせないか考えました。また、設計段階で注文したことは、「明るくしたい」ということでした。単調な環境にならないように工夫しました。というのは、教育をするほうも、教育をされるほうも学校へ来ること(=教育)が楽しいと問題ないのですが、現在・過去の自分を振り返りかえっても決して楽しかった記憶はありません。環境が明るければ、気分も変わ

るというものです。学生が前向きに学習してくれることを願っています。

新しい学校への移転は、3月よりも4月のほうが教員も増えるし、春休みがあるので、楽だと助言をうけました。しかし、卒業する3年生に新しい学校で学習させたいと思いました。3月だったので、ほんとうに心身ともに疲れましたが、移転するとそんな気持ちも変わり、とてもうれしい気持ちになりました。きれいだということは、とても気持ちよく、気分も晴れやかになります。環境が与える影響が大きいことを実感しました。学生も、今までよりも賢く見えるのは錯覚でしょうか・・・。

少し建物を紹介します。まず、第一は、学生の安全を確保するためのセキュリティの完備(学校玄関、ロッカー室)にカード式の出入時の管理システ



新 校 舎



新 校 舎



情報科学室

ムの導入2静かに学習できる自習室3看護技術の演習では、教員の手元が見えるモニター設置4学生一人につきパソコン一台の情報科学室 などです。建物で私のお気に入り、1音楽が全館で流れること2玄関前の庭に花が植えられ四季を感じることができる3ガラスが効果的に使用され外の明かりがさしこみ、特に学生ロビーは気持ちよく過ごせます。このよう

に、教育の環境は十分に整いました。今後は、建物に負けない質の高い看護師の教育をすることが、第一義的な目的であると考えます。学校ができるまでに、いやで来てからも、いろんな方にご協力をいただきました。学校の職員だけでなく、病院の方々、関係者の方に深く感謝いたします。



臨床研究部の発足

副院長 河部庸次郎

国立病院機構では、その病院ネットワークを利用した臨床研究の充実が一つの大きな課題、目標となっています。国立病院機構の病院は、それぞれの地域に根ざした病院としての重要な役割があることは勿論のことですが、政策医療の推進とともに現在 146 の機構病院のネットワークづくりとこれらの病院の連携を利用した臨床研究にも重点を置いています。

当院は平成 17 年に院内標榜の形で臨床研究部を立ち上げました。当時、全国の臨床研究センター長、部長の集まりで、診療研究センターあるいは臨床研究部の評価項目(案)が本部の伊藤課長から提示されました。その時はこのような点数評価で実際動くようになるのだろうか?と疑問がありましたが、翌年からはこの評価項目に従って実績を提出するようになり、この実績に従って研究補助金が出されるようになりました。また、同時に機構独自の大規模臨床研究が始まり、国立病院機構の臨床研究に関する足取りは着実にかつ機敏に進み始めました。

当院の臨床研究部はこのような機構の動きにあと押しされた形で進んでいます。当院研究部の活動の促進の一つにはCRC(治験コーディネーター)の配置があります。治験の実施はこの治験コーディネーターなしには不可能であり、当院の治験野促進は治験コーディネーターのお陰だと思っています。

全国国立病院機構には昨年度まで、8つの臨床研究センター、49の臨床研究部 更に56の院内標榜臨床研究部がありました。今年度は、10の臨床研究センター、60の臨床研究部が作られ、新しく構築され

ています。当院は評価点数からすると、昨年度までの56の院内標榜臨床研究部の中で8位という好成績を納める事ができました。このような好成績によって正式な臨床研究部になれたのも偏に古賀院長先生の先見の明によるものであったと感謝しております。

さて、臨床研究部になったらどうなるのか?これは、私どもの今後の努力によってその成果が評価されるものだと思っています。特に、機構本部が旗を振っている大規模臨床研究は得られた新しいエビデンスが臨床に貢献できることによって、機構全体の臨床研究センターあるいは研究部全体の評価に繋がるものと考えています。嬉野医療センターに臨床研究部はその独自性を模索しながら機構本部に足取りを合わせてついていくことによって、医学、医療の進歩に少しでも貢献できるようにしていきたいと考えています。





日本医療マネジメント学会 第7回佐賀地方会に参加して

東1病棟看護師 土井 千佳

平成20年2月9日武雄市文化会館にて開催された医療マネジメント学会に参加しました。今回私は『股関節手術における術後嘔気・嘔吐の頻度』について口演発表をさせていただきました。

当院で行われる股関節手術の3つの術式において、術後の嘔気・嘔吐の発生率、要因など術式による違いがあるのか比較しました。どの手術においても術

後の嘔気の発生率は高く、予測をもった看護が必要だと考えます。他の発表の中にも整形分野での発表が数例あり学びとなりました。

口演発表を行うのは今回が初めてで緊張しましたが、学会の雰囲気を楽しむことができ、よい機会となりました。今回の学びを今後に活かし、広い視野をもち看護に取り組みたいと思います。



日本医療マネジメント学会 第7回佐賀地方会に参加して

医療社会事業専門員 糸山 尚美

当院にソーシャルワーカー（以下、MSW）が配置されて四年目になり、佐賀地方会での学会発表は、MSWが配置されてから毎年の恒例行事となりつつあります。今回は「MSWの配置に関する一側面からの分析～データ分析から予測できること、MSWの必要性～」というテーマで発表させていただきました。最近ではMSWという職種もTVに出てくる

など、クローズアップされておりますが、当院に行っているデータ分析からMSW配置における効果を多少はお伝えできたのではないかと思います。私たちMSWは多職種の方の理解と協力の下、患者さん・家族の療養に関しての不安軽減を図りつつ主体的自立を支援しながら、地域医療連携の促進に向けてこれからも日々の業務に取り組んでいきたいと思っています。



第56回生 入学式

教員 今本 文子

平成20年4月10日（木）、看護学校体育館で「第56回生 入学式」が挙行されました。校舎が新しくなり初めて迎える新入生となります。今年は、女子42名の新入生を迎えることができました。

入学式では、壱岐めぐみさんが新入生を代表して、「看護学生の本分をわきまえ、その本分にもとらなことを誓います」と宣誓をしました。

新入生の初々しくさわやかな姿に背筋の伸びる思いがいたしました。新入生が設備の整った新しい環境の中で、多くのことを吸収し、看護学生として成長していくことができるよう、学校職員一同、そして2年生、3年生の在校生とともに支援していききたいと思います。





病院食の安全に関する取り組みについて

栄養管理室長 宮崎 淑子

中国産冷凍ギョウザによる健康被害などをきっかけとして、国民の食の安全に対する関心が高まる今日、皆様のあいだでも当院の病院食の安全性に対して少なからず関心をもたれている方も多いかと思います。安心して飲食できるようにするには食品の生産から消費までのあいだ健康を損なう原因となるようなものはいらないようにしなければなりません。わが国の食料自給率は供給熱量ベースで40%以下となっており、輸入食品の安全性も重要となっています。市販食品の安全確保で問題となることは食品添加物、残留農薬、環境汚染物質、食中毒、器具、容器包装などで、生産から貯蔵、加工、運搬まで安全の確保が求められています。これらは食品衛生法や食品安全基本法などの法律により規制され、安全性のチェックは我が国の食品衛生行政の大きな課題といわれています。

さてこの度、当院の栄養管理室における安全に関する取り組みについて報告させていただきます。病院食で使用する食品の安全性を確保するには食品の取り扱いを衛生的に行うことにより、病原微生物による汚染、有毒・有害物質、異物混入、腐敗・変敗から食品をまもる必要があります。貯蔵、調理・加工などすべての過程において安全性の確保が重要と思われます。病院や福祉施設、学校給食施設などの集団給食施設等における食中毒を予防する為に、「大量調理施設衛生管理マニュアル」の遵守を義務づけられています。これはHACCP(危害分析・重要管理点)の概念に基づき、調理課程における重要管理事項を示し、衛生管理体制の確立のもと重要管理事項について点検・記録を行う等の詳細な事項が記載されているものです。この大量調理施設衛生管理マニュアルに従い原材料の受け入れ・下処理段階における管理、加熱食品の加熱温度管理、二次汚染の防止、原材料及び調理済み食品の温度管理など毎日点検・記録を実施しています。

たとえば、原材料(食品)の納入時刻、品温、生産地や製造年月日、鮮度、異物混入の有無などの点検・記録。各食品の保管の為に数箇所の冷蔵庫・冷凍庫の温度の点検・記録などです。また調理従事者の日々



の健康状態や白衣等服装の清潔度等の点検とその記録や加熱調理食品についても中心温度計で計測して75℃で1分以上の加熱の確認・記録や使用水の残留塩素濃度計測の記録を行っております。さらにその中の標準作業書のマニュアルでは手洗いの方法から原材料の洗浄・保管方法や調理器具、容器等の使用後の洗浄・殺菌など細部に渡り記載されて、それに従い実施する事などを義務づけられています。調理後においても調理後の食品は2時間以内に喫食することが望ましいとされており、実際は多少困難な場合もありますができるだけ2時間以内をめどに調理作業をするように指示しております。

以上のことについては保健所による立ち入り検査時に衛生管理マニュアルを遵守しているか記録の確認等が行われている状況です。今後も衛生管理の徹底により、常日頃食中毒予防に気を配りながら、安全な食事の提供を目指して努力していきたいと思っております。

ちけん室コーナー

治験管理室 CRC 岩永由香



治験管理室が新しくなりました

治験管理室が今までの当院薬局奥（奥過ぎて私の居場所を知らない方が多かった）から外来棟2階（地域医療研修センター旧大ホール）へ移転いたしました。

外来からエレベーターですぐ、と近いので患者様をご案内して静かな場所でゆっくり治験の説明をしたり、治験の依頼者がカルテの閲覧をするスペースをゆったりと取ることができるようになりました。ていねいに治験の内容を説明して患者様には納得して治験に参加していただきたい！その一心でお話をさせていただいていますが、あわただしい外来のさなかではなかなかそうも行きません。説明場所の確保も容易ではなかったのが、今度からは新しい治験管理室で患者様の時間が許す限り納得いくまでお話しをすることができるとおもいます。

また、書類や資料を適切に保管する場所も大幅に増設しましたのでなおいっそうたくさんの方の患者様に治験にご協力いただき、新しいお薬の誕生のために役割を果たしたいと思っています。

治験を行っていただいている各先生方にはちょっと遠いかもしれませんが、報告書等の記載時にはおいでいただきますようよろしくお願いいたします。治験に興味があるスタッフも大歓迎です。CRCがどんなところで仕事をしているか、一度見にこられませんか？



花だより

編集委員長 計屋紘信

「梅、桃、桜 について」

今年も病院の桜が見事に満開を迎え広報誌 1 面を飾っています。

そこでこれまで疑問に思っていました桜と梅の違いを述べたいと思います。

桜と梅を調べていましたらなんと桃も同属であることがわかりました。桜、桃、梅は分類上はバラ目、バラ科、桜属、似ているのも当然ですね。

以下にその違いを述べます。

梅 Plum blossoms

- ・花柄(かへい)がないので、枝にくっつくように花が咲く。
- ・花芽が1節につき1個なので、たわわに咲くのではなくスカスカした感じ。
- ・花びらの先が丸い。



桃 Peach flower

- ・花柄がひじょうに短いので、枝に沿うように花が咲く。
- ・節の中央に葉芽があり、その両側に花芽が1個(つまり1節につき2個)なので、梅よりも華やかに見える。
- ・花びらの先が尖っている。



桜 Cherry blossoms

- ・花柄がひじょうに長いので、枝からこぼれんばかりに花が咲く。
- ・花芽が房状についているので、花数が多くとても華やか。
- ・花びらの先が割れている。



このように花の付き方と花びらの形の違いに着目するとわかるのです。

それではクイズです。
では、こちらの画像は
どれが 梅？ 桃？ 桜？



答えは編集後記にあります。

区 分		月	火	水	木	金
呼 吸 器 科	午前	副島 佳文 飯田 哲也	松竹 豊司	副島 佳文	飯田 哲也	松竹 豊司
消 化 器 科	午前	町田 治久（消化管） 川副 広明（肝臓）	鶴田 英夫（消化管） 藤本 優（肝臓）	塩澤 純一 町田 治久	鶴田 英夫（消化管） 藤本 優（肝臓）	塩澤 純一 川副 広明（肝臓）
循 環 器 内 科	午前	山方 勇樹 吉田 健夫	波多 史朗	吉田 健夫	波多 史朗 吉田 健夫	山方 勇樹
心 臓 血 管 外 科	午前	須田 久雄（予約新患）	須田 久雄 力武 一久	須田 久雄（予約新患） 力武 一久（予約新患）	須田 久雄（予約新患）	須田 久雄 力武 一久
糖 尿 ・ 膠 原 内 科	午前		田中 史子		田中 史子	河部庸次郎
リ ウ マ チ 科	午前	河部庸次郎		荒武弘一朗	荒武弘一朗	田中 史子
神 経 内 科	午前	林 隆太郎		林隆太郎・溝田貴光		溝田 貴光
腎 臓 内 科	午前		中沢将之（整形で診察）		中沢将之（整形で診察）	
小 児 科	午前	江藤 智子	小野 晋康 小児神経外来 第3火曜 （診察 14:00～16:00）	佐藤 忠司	田島 大輔 小児腎臓外来 第2木曜 内分泌外来 第3木曜 心臓外来 第4木曜 （受付 13:00～16:00）	船越亜希子
	午後	佐藤 忠司 （診察 14:00～16:00）	乳児検診 （診察 14:00～16:00）			小野 晋康 （診察 14:00～16:00）
外 科	午前	岡 忠之①②④	生田 安司①②④	黨 和夫①③	柴崎 信一①③	富永 哲郎①③
	午後	岡 忠之・生田安司（乳腺外来） （診察 14:00～16:00）				
整 形 外 科	午前	村田 雅和 久芳 昭一 穂積 晃	前田 和政 松村 陽介 宮田 倫明	古市 格 村田 雅和 穂積 晃	前田 和政 宮田 倫明	古市 格 松村 陽介 久芳 昭一
脳 神 経 外 科	午前	石橋 秀昭	宮園 正之		宮園 正之	
皮 膚 科	午前	陳 文雅（新患） 岡崎志帆子（再来）	岡崎志帆子（新患） 陳 文雅（再来）	陳 文雅（新患） 岡崎志帆子（再来）	岡崎志帆子（新患） 陳 文雅（再来）	陳 文雅（新患） 岡崎志帆子（再来）
泌 尿 器 科	午前	林田 靖（新患） 計屋 紘信（再来）	林田 靖（新患） 大庭康司郎（再来）	計屋 紘信（新患） 大庭康司郎（再来）	計屋 紘信（新患） 林田 靖（再来）	大庭康司郎（新患） 林田 靖（再来）
	午後		予約外来		予約外来	
産 婦 人 科	午前	藤原恵美子（産） 一瀬 俊介（婦）	一瀬 俊介（産） 松脇 隆博（婦）	松脇 隆博（産・婦）	松脇 隆博（産） 一瀬 俊介（婦）	一瀬 俊介（産） 藤原恵美子（婦）
	午後			藤原恵美子（産・婦） （診察 14:00～15:30）		
眼 科	午前	新納 栄良	新納 栄良	新納 栄良 （診察 8:30～10:00）	新納 栄良	新納 栄良
	午後	新納 栄良 （完全予約外来）		（完全予約外来）	新納 栄良 （完全予約外来）	新納 栄良 （完全予約外来）
耳 鼻 咽 喉 科	午前	宗 英吾 馬場 明子	宗 英吾 馬場 明子		宗 英吾 馬場 明子	宗 英吾 馬場 明子
	午後			宗 英吾・馬場明子 （診察 13:00～16:00）		
放 射 線 科	午前	西田 暁史 福井健一郎	西田 暁史 福井健一郎	西田 暁史 福井健一郎	西田 暁史 福井健一郎	西田 暁史 福井健一郎
	午後	末吉 真	末吉 真	末吉 真	末吉 真	末吉 真
麻 酔 科 （ペインクリニック）	午前	香月 亮 上村 裕平	香月 亮 上村 裕平	香月 亮 上村 裕平	香月 亮 上村 裕平	香月 亮 上村 裕平
救 急 科 （8:30～17:15）		吉田 昌人	吉田 昌人	吉田 昌人	吉田 昌人	吉田 昌人

ご紹介いただく患者様につきましては可能な限り事前予約をおとりいただきますようお願い致します。
（当院の受付時間は、午前8時30分～午前11時00分迄です。）

※ 内 科 系	第2・第4木曜日はペースメーカー外来を行っています。 毎週月・金曜日の午後は一般外来を受付けています。（受付 13 時～16 時） 毎週火曜日午後は乳児健診（受付時間 11 時～14 時） ■ 第4木曜日の午後は心臓外来（受付 13 時～16 時） ★完全予約制
小 児 科	毎月第3木曜日の午後は内分泌外来、（受付 13 時～16 時まで） 毎月第4火曜日の午後は小児神経外来、（受付 14 時～16 時まで） ★完全予約制 毎月第2木曜日の午後は小児腎臓外来（受付 13 時～16 時） ★予約制
外 科	①一般外科 ②呼吸器外科 ③消化器外科 ④乳腺外科 ■毎週月曜日の午後は乳腺外来を行っております。（受付時間 13 時～16 時）
整 形 外 科	ご紹介は整形外来宛てをお願いします。救急患者については救急室にて対応しています。
泌 尿 器 科	毎月第1火曜日の午後は、ストーマ外来を予約により行っています。 ■毎週火・木曜日の午後は、検査予約外来を行っています。
産 婦 人 科	毎週火曜日午後は母乳育児指導を受け付けています。（受付時間 13 時 30 分～15 時 30 分） 毎週水曜日午後は一般外来を受け付けています。（受付時間 13 時 30 分～15 時 30 分）
眼 科	毎週水曜日の外来は完全予約制です。（診療時間 8 時 30 分～10 時 00 分）
耳 鼻 科	毎週水曜日午後は一般外来を受け付けています。（受付時間 13 時～16 時） 毎月第1・第3木曜日の午前及び毎週水曜日の午後は、補聴器外来を行っています。
麻 酔 科	ご紹介は月曜日をお願いします。救急の場合にはこの限りではありません。

2008. 4. 1

風薫る5月となりました。花々と新緑の美しさに目を奪われる季節です。読者の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。少し遅くなりましたが、嬉野医療センターから広報誌17号をお届け致します。

1面の写真は今年も美しく満開を迎えました病院の桜です。

今号は冒頭に小池恭栄看護学校教育主事から新築なった看護学校の、設計施工のころの苦労と竣工後の喜びについて述べていただきました。今後の看護教育の決意も述べられています。続きまして河部副院長の臨床研究部の発足、栄養管理室の宮崎淑子室長から病院食の安全の取り組みについてなど最近の当センターの動きをご報告いたします。

どうぞご自由にお持ちください。お読みいただきご感想などお寄せいただければ幸いです。クイズの答え、左から桃、桜、梅の順でした。

広報編集委員長 計屋 紘信 (0954-43-1120 内線669)